



## ゲームデザイナーズ大賞 2016

## 『Life Is Strange』

(DONTNOD Entertainment)

プラットフォーム：PS4/PS3/PC

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会

「日本ゲーム大賞 2016 (JGA2016)」(主催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会、略称：CESA、会長：岡村秀樹)は、『Life Is Strange』(DONTNOD Entertainment / プラットフォーム：PS4 / PS3 / PC)を2016年度の「ゲームデザイナーズ大賞」に決定しました。

受賞理由について、ゲームデザイナーズ大賞の審査員長である桜井政博氏(有限会社ソラ代表)は、以下の通り述べています：

『Life Is Strange』は、時間を巻き戻せる能力(タイムリwind)を持った女学生が主人公の作品です。『時をかける少女』などのタイムリプと異なり、自らが同じ場所にいながらにして、短期間だけ巻き戻すことができます。これを駆使して密室に入るなど、パズル的な要素も楽しめる作品ですが、**真骨頂は、選択をやり直すことができることにあります。**以前の知識と経験を持って別の選択を試すことで、よりよい解決を目指すことができます。



ただ、必ず道が決まっているわけではありません。序盤で乱暴された友達が自殺を図りますが、生きていても、亡くなってしまっても、それはそれでゲームが進みます。入院しているシーンも、葬儀のようなシーンも用意されています。また、善し悪しがハッキリ判るものばかりではありません。とくに最後の選択肢は、非常に大きな選択です。プレイヤー間では「ビアンカとフローラ、どっちと結婚した？」というぐらいの重みで語られることになるかもしれません。

タイムリwindは、コンピューターゲームが得意とする表現です。レースゲームなどにもよくあります。

**しかし、アドベンチャーゲームで採用されるのは例が無い上、多くの選択幅に対する作り込みなどが評価され、今回の受賞となりました。**

今年度は日本を代表する11名のトップクリエイターが、プロの視点から「独創性」や「斬新性」などの評価軸で、受賞作品を選出しました。

日本ゲーム大賞のもう一つの大賞である「ゲームデザイナーズ大賞」は、今後のゲーム産業の発展のための一つの指標として、創造性豊かな作品を引き続き紹介していきます。

来年の「ゲームデザイナーズ大賞」も是非ご期待ください。

## 「ゲームデザイナーズ大賞 2016」審査員 (敬称略、五十音順)

- ・飯田 和敏：立命館大学 映像学部教授
- ・イシイジロウ：(株)ストーリーテリング代表
- ・上田 文人：ゲームデザイナー
- ・小川 陽二郎：エヌ・シー・ジャパン(株) 開発統括本部長  
LIONSHIP STUDIO 代表
- ・神谷 英樹：プラチナゲームズ(株) ゲームデザイナー
- ・小高 和剛：(株)スパイク・チュンソフト
- ・桜井 政博：(有)ソラ
- ・巧 舟：(株)カブコン
- ・外山 圭一郎：(株)ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- ・藤澤 仁：(株)スクウェア・エニックス
- ・三上 真司：ゼニマックス・アジア(株)/Tango Gameworks

公式サイト：<http://awards.cesa.or.jp/> ロゴ・受賞マーク：<http://awards.cesa.or.jp/overview/index.html>

## 【日本ゲーム大賞に関するお問い合わせ先】

- ◆9月18日(日)まで：「東京ゲームショー2016 プレスルーム」TEL：043-296-4332/FAX：043-296-4333
- ◆9月20日(火)以降：「日本ゲーム大賞事務局 (CESA 事務局内)」TEL：03-6302-0466/FAX：03-6302-0968  
e-mail：[awards@cesa.or.jp](mailto:awards@cesa.or.jp)